経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県　加西市

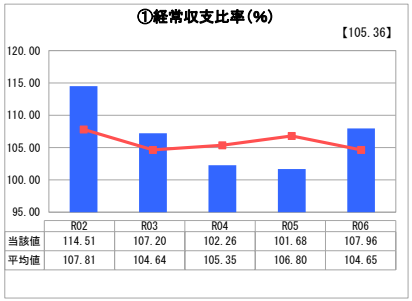
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	77.32	29.35	92.69	3,710

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
41,455	150.98	274.57
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
12,104	5.38	2,249.81

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

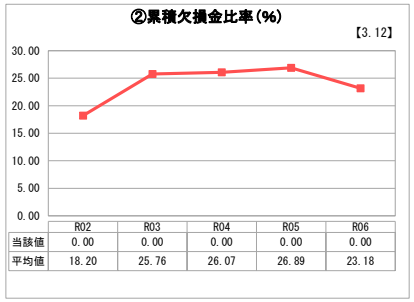
1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)　【105.36】



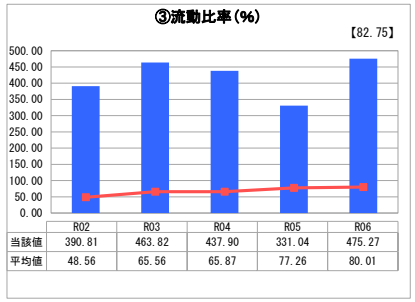
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	114.51	107.20	102.26	101.68	107.96
平均値	107.81	104.64	105.35	106.80	104.65

②累積欠損金比率(%)　【3.12】



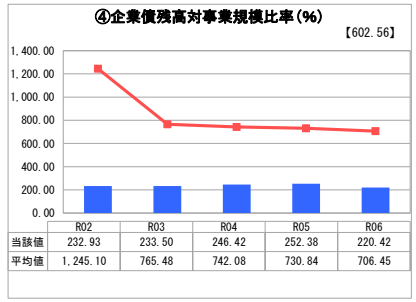
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	18.20	25.76	26.07	26.89	23.18

③流動比率(%)　【82.75】



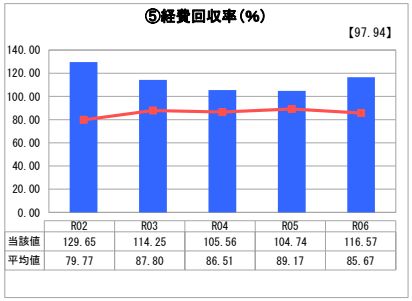
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	390.81	463.82	437.90	331.04	475.27
平均値	48.56	65.56	65.87	77.26	80.01

④企業債残高対事業規模比率(%)　【602.56】



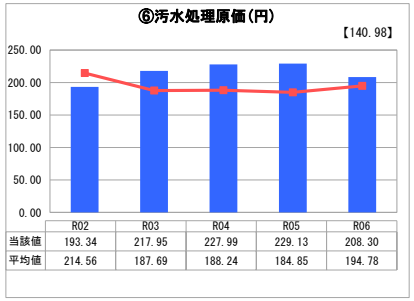
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	232.93	233.50	246.42	252.38	220.42
平均値	1,245.10	765.48	742.08	730.84	706.45

⑤経費回収率(%)　【97.94】



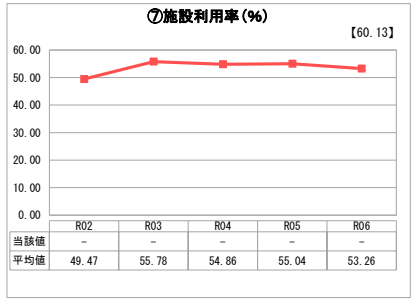
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	129.65	114.25	105.56	104.74	116.57
平均値	79.77	87.80	86.51	89.17	85.67

⑥汚水処理原価(円)　【140.98】



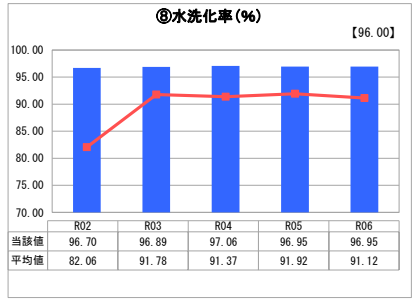
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	193.34	217.95	227.99	229.13	208.30
平均値	214.56	187.69	188.24	184.85	194.78

⑦施設利用率(%)　【60.13】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	-	-
平均値	49.47	55.78	54.86	55.04	53.26

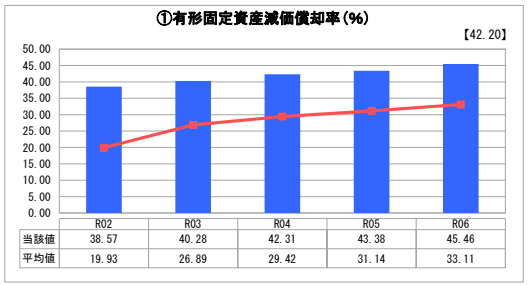
⑧水洗化率(%)　【96.00】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	96.70	96.89	97.06	96.95	96.95
平均値	82.06	91.78	91.37	91.92	91.12

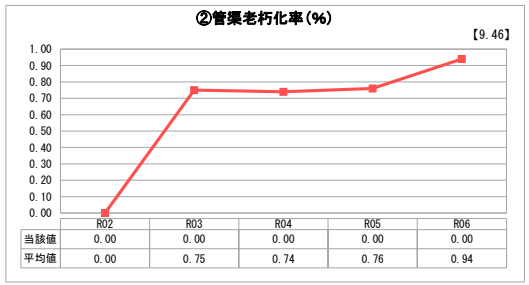
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)　【42.20】



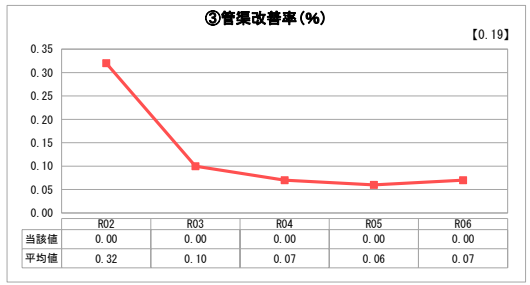
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	38.57	40.28	42.31	43.38	45.46
平均値	19.93	26.89	29.42	31.14	33.11

②管渠老朽化率(%)　【9.46】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.00	0.75	0.74	0.76	0.94

③管渠改善率(%)　【0.19】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.32	0.10	0.07	0.06	0.07

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は引き続き100%を上回っています。令和6年度は、使用料収入や雨水処理負担の増に伴う繰入金が増加したため、数値が昨年度に比べ上昇しました。
今後、人口減による使用料収入の減少が予測されるため、引き続き経費の節減に努める必要があります。
②累積欠損金比率は平成27年度決算において解消された以降、発生していません。
③令和6年度は完成工事費の大幅な減少に伴い流動負債が大幅に減少したため、流動比率は昨年度よりも上昇しました。流動比率自体は引き続き良好な状況を保っています。
④企業債残高対事業規模比率は類似団体比率を下回っており、適正な数値となっています。
⑤昨年度よりも汚水処理費が減少したため、経費回収率も若干改善しています。経費回収率は引き続き100%を超えており、使用料で経費を賄えている状況であると言えます。
⑥汚水処理原価は、令和5年度と比較すると数値はやや改善しました。よって、昨年度同様、類似団体平均を上回っています。
⑦当市には公共下水道の処理施設が無く、他市にある流域下水道の処理場に汚水を放流しているため、施設利用率は該当がありません。
⑧水洗化率については類似団体平均より高い水準ですが、今後も引き続き水洗化の促進に努めます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均と比べると数値が高く、令和6年度末で45.56%となっています。
よって、全体の残存価額は5割強程度残っていることになります。
③平成30年度に一部の地域において管更生工事を実施した以降は、管更生事業は実施していません。

全体総括

当市の公共下水道事業については、ほとんどの指標において類似団体平均よりも数値が良く、全体的に概ね良い状況を保っていると言えます。
ただ、市の下水道事業全体としては、農業集落排水事業、コミュニティ・プラント事業の事業効率が悪く、非常に厳しい経営状況が続いています。
今後、人口減少による使用料の減収や物価高騰による維持管理費の増加等が予想される中、各事業共に、引き続き経費の節減と水洗化の促進等による使用料収入の確保に取り組み、効率的で持続可能な下水道経営に努めます。

経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県　加西市

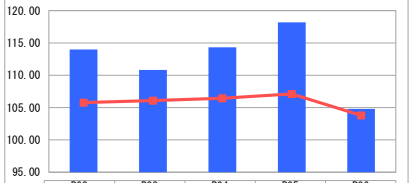
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	45.64	38.16	92.69	3,710

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
41,455	150.98	274.57
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
15,737	13.29	1,184.12

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

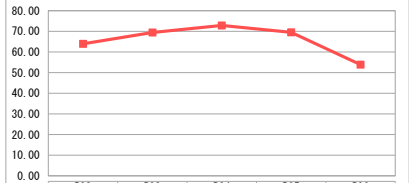
1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)　【105.07】



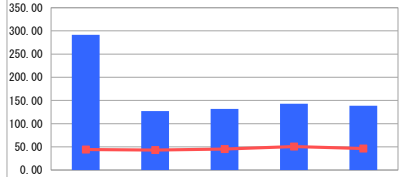
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	113.98	110.82	114.32	118.19	104.80
平均値	105.78	106.09	106.44	107.11	103.79

②累積欠損金比率(%)　【63.54】



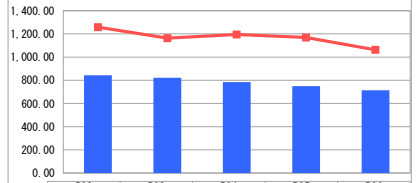
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	63.96	69.42	72.86	69.54	53.87

③流動比率(%)　【50.90】



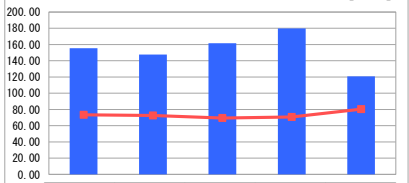
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	291.37	127.18	131.89	142.81	138.44
平均値	44.24	43.07	45.42	50.63	46.37

④企業債残高対事業規模比率(%)　【1,099.15】



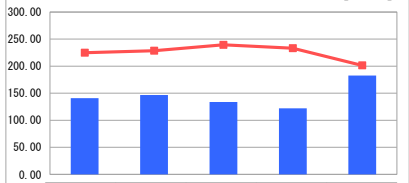
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	842.52	821.71	784.62	750.23	713.82
平均値	1,258.43	1,163.75	1,195.47	1,168.69	1,062.58

⑤経費回収率(%)　【72.92】



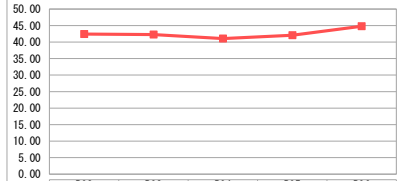
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	155.51	147.61	161.66	179.93	120.68
平均値	73.36	72.60	69.43	70.71	80.36

⑥汚水処理原価(円)　【225.78】



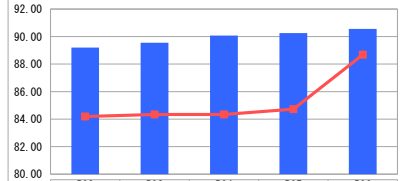
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	140.87	146.64	133.78	122.21	182.73
平均値	224.88	228.64	239.46	233.15	201.33

⑦施設利用率(%)　【43.17】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	-	-
平均値	42.40	42.28	41.06	42.09	44.79

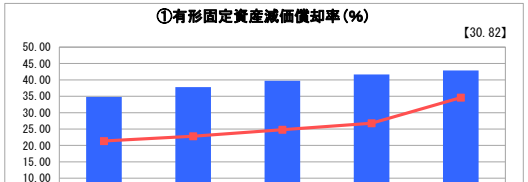
⑧水洗化率(%)　【86.31】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	89.20	89.55	90.07	90.25	90.56
平均値	84.19	84.34	84.34	84.73	88.68

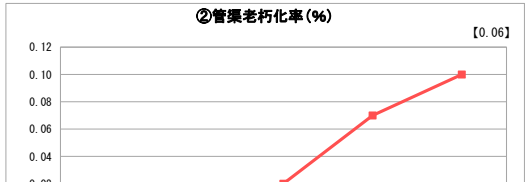
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)　【30.82】



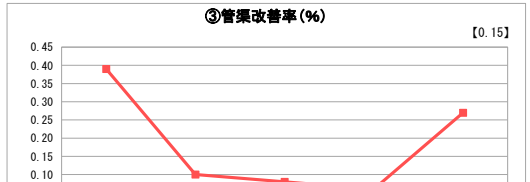
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	34.80	37.82	39.73	41.69	42.88
平均値	21.36	22.79	24.80	26.77	34.59

②管渠老朽化率(%)　【0.06】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.01	0.01	0.02	0.07	0.10

③管渠改善率(%)　【0.15】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.39	0.10	0.08	0.06	0.27

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%を上回っており、経営状況は引き続き良好です。令和6年度は高資本対策に係る繰入金が減少したため、営業外収益が大幅に減少したことで数値が減少しました。
処理区域の統合事業により今後の収支は流動的ですが、人口減による使用料収入の減少や事業推進による費用の増加が見込まれるため、引き続き経費の節減に努める必要があります。
②累積欠損金比率は近年黒字が続いているため改善し、令和2年度に欠損金は解消されました。
③流動比率は、令和3年度にコミプラ処理区の統合事業の影響で大きく減少したものの、その後は安定した数値で推移しており、引き続き類似団体平均を上回っています。
④企業債残高対事業規模比率は引き続き類似団体平均を下回っており、適正な数値となっています。
⑤前年度と比較して数値は低下したものの、経費回収率は引き続き100%を超えています。
⑥汚水処理原価は、高資本対策に係る繰入金が減少したため汚水処理費が増加し数値が悪化しましたが、引き続き類似団体平均を下回っています。
⑦当市には特定環境保全公共下水道の処理施設が無く、他市にある流域下水道の処理場を利用しているため、施設利用率は該当がありません。
⑧水洗化率については年々上昇し類似団体平均を上回っていますが、今後も引き続き水洗化の促進に努めます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均と比べるとやや高く、令和6年度末で42.88%となっています。
よって、全体の残存価額は6割弱程度残っていることになります。
②管渠老朽化率は、管渠を比較的近年に整備したため、法定耐用年数を超えたものはありません。

全体総括

当市の特定環境保全公共下水道については、ほとんどの指標において類似団体平均よりも数値が良く、全体的に概ね良い状況を保っていると言えます。
現在、農業集落排水処理施設及びコミュニティ・プラント施設との統廃合事業を実施しており、当該管渠施設の移管を受ける等により、今後の経営状況は流動的になっていくことが予想されます。今後も引き続き経費の削減と水洗化の促進等による使用料収入の確保に取り組み、効率的で持続可能な下水道経営に努めます。

経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県　加西市

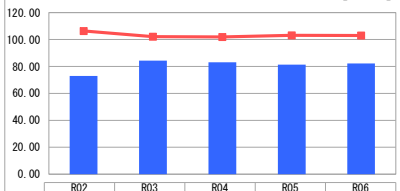
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	4.02	17.36	94.82	3,710

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
41,455	150.98	274.57
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
7,158	3.14	2,279.62

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

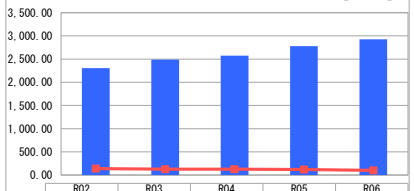
1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)　【104.30】



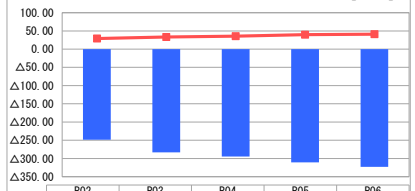
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	72.98	84.39	83.10	81.35	82.20
平均値	106.37	102.11	101.91	103.07	103.04

②累積欠損金比率(%)　【102.74】



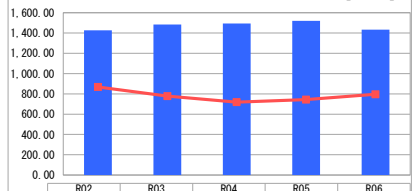
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	2,304.58	2,487.53	2,575.28	2,778.58	2,926.18
平均値	139.02	124.90	124.80	120.64	100.31

③流動比率(%)　【47.19】



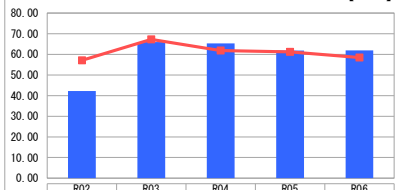
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	△248.36	△283.33	△294.70	△310.50	△322.89
平均値	29.13	33.58	35.42	39.82	41.03

④企業債残高対事業規模比率(%)　【798.10】



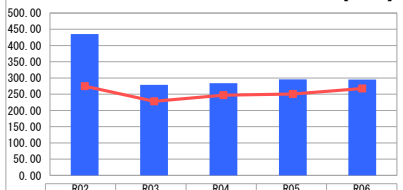
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	1,426.45	1,484.29	1,494.09	1,520.31	1,432.96
平均値	867.83	778.81	718.49	743.31	796.80

⑤経費回収率(%)　【54.51】



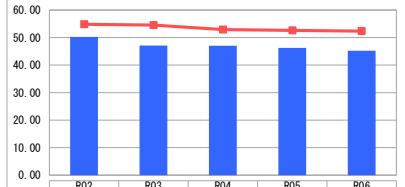
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	42.26	65.94	65.33	61.80	61.94
平均値	57.08	67.23	61.82	61.15	58.41

⑥汚水処理原価(円)　【286.33】



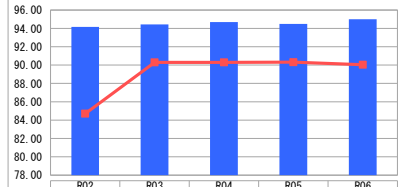
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	435.18	278.80	283.90	295.64	295.15
平均値	274.99	228.21	246.90	250.43	267.34

⑦施設利用率(%)　【49.92】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	50.23	47.11	47.02	46.24	45.23
平均値	54.83	54.54	52.90	52.63	52.34

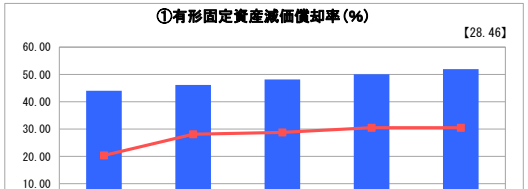
⑧水洗化率(%)　【87.80】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	94.16	94.44	94.68	94.48	95.00
平均値	84.70	90.30	90.30	90.32	90.05

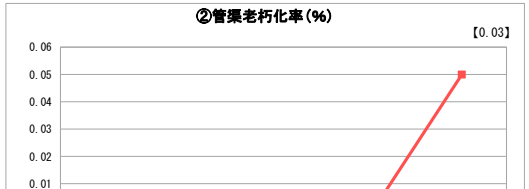
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)　【28.46】



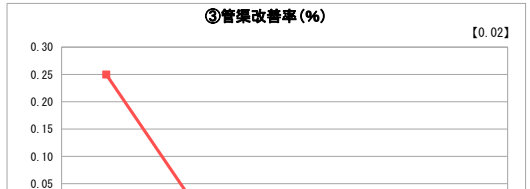
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	44.05	46.15	48.15	50.06	51.95
平均値	20.34	28.12	28.79	30.50	30.49

②管渠老朽化率(%)　【0.03】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05

③管渠改善率(%)　【0.02】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.25	0.01	0.01	0.02	0.02

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は82.20%で類似団体平均を大きく下回っています。令和6年度は、前年度に引き続き収益が減少しましたが費用も減少したため、数値はやや改善しています。
②累積欠損金比率は令和6年度も赤字決算のため前年度に比べ悪化しており、引き続き類似団体平均を大きく上回っています。
③流動比率は、引き続き類似団体平均を大きく下回っています。ただ、公共下水道等を含めた下水道事業全体では、支払能力に問題はありません。
④企業債残高対事業規模比率は、引き続き類似団体平均を上回っています。
当事業は汚水処理区域が広いため、処理施設数が多く管渠延長も長いことから、整備に多額の費用が必要となります。よって、その財源として多額の企業債を借入れたためです。
⑤⑥令和6年度は、前年度と比較して経費回収率も汚水処理原価も、それぞれ数値はほぼ横ばいとなりました。
⑦施設利用率は、近年は40%台と低い数値で推移しています。令和6年度は昨年度よりやや数値が悪化し、引き続き類似団体平均を下回っています。
⑧水洗化率は90%を超えており、類似団体平均よりも高い数値となっています。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は令和6年度末で51.95%と、類似団体平均と比べると数値が高くなっています。原因としては、本市が比較的早い時期から農業集落排水事業に取り組んできたためと考えられます。

全体総括

農業集落排水事業は、農村部にあたる地区の下水道事業です。広い処理区域に家屋が点在しているため、効率的な汚水処理が難しく、また20箇所近くの処理施設整備費用の財源として借り入れた起債の未償還残高が多いこと等から、各指標の数値はどれもあまり良くありません。
今後は、農村部における顕著な人口減少による使用料収入の影響に加えて、施設の老朽化による維持管理・更新費用についても、最近の物価高騰の影響を受け始めており、懸念される状態です。
このため現在、特定環境保全公共下水道への統廃合事業を徐々に進めており、今後、農業集落排水事業のスリム化と経営の効率化を図っていきます。